

機械器具(51) 類別名称 医療用嘴管及び体液誘導管  
一般医療機器  
一般的名称: 排液バック JMDNコード: 70308000  
**ATMOS C051 キャニスター**

**再使用禁止**

**【警告】**

装置を使用せずに重力ドレナージのみで本品を使用しないこと。

**【禁忌・禁止】**

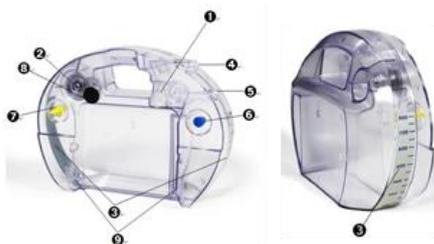
1. 再使用禁止
2. 装置を使用せずに本品のみを使用しないこと。
3. 液面が高すぎる場合には、閉塞が引き起こされ、緊張性気胸発症のおそれがあるため注意すること。
4. 排液が最大レベルに達したときは患者の安全を確保するために本品を交換すること。
5. ATMOS C051 ソラックス電動式低圧吸引器以外の低圧吸引器と共に本品を使用しないこと〔製品の安全性と効果が保証できないため〕。
6. 本品を電子レンジ内で乾燥させないこと

**\*\*【形状・構造及び原理等】**

1. 構成  
本体

2. 形状

本品は、専用の電動式低圧吸引器「ATMOS C051 ソラックス電動式低圧吸引器(医療機器認証番号:228A0BZX00005Z00)」および「ATMOS チューブシステム(医療機器届出番号:27B1X00021000074)」に接続して使用するキャニスターである。



3. 各部機能及び名称

番号	名称
1	安全弁
2	装置との接合部
3	目盛
4	排液用チューブ接続口
5	計測及び洗浄用チューブ接続口
6	排液用チューブ接続口キャップ
7	装置との接続部キャップ
8	安全弁キャップ
9	差込用溝

**\*【使用目的又は効果】**

本品は、胸部、腹部等の外科手術等において、胸腔または腹腔などの創部からドレインチューブを経由して吸引された血液、空気、膿状分泌物を貯留するために用いる排液バックである。本品内部に取り付けられた疎水性細菌フィルターが、電動式低圧吸引器内に血液・分泌物等が吸引されることを防ぎ、装置内の細菌汚染を防止する。

**\*\*【使用方法等】**

1. 装置への接続

- (1) 本品を梱包から慎重に取り出す。その後、差込用溝を装置後部のキャニスター差込口に取り付ける。この際、本品を装置に真上から入れるのではなく、本品上部と装置との間に隙間が出来るよう僅かに傾けた状態で滑らせるとうまく取り付けることができる。
- (2) 本品をカチッと音がするまで装置にはめ込む。この際装置上部の青色の取り出しボタンが初めの位置に戻ることを確認する。
- (3) 本品を少し引っぱり、装置にしっかりと接続できていることを確認する。

2. キャニスターの交換

- (1) 患者に留置されたドレナージカテーテルをクランプする。
- (2) 装置の電源を切り、治療を中断する。
- (3) 装置上部の青色の取り出しボタンを下に押し、本品を僅かに傾け、上方に引っ張って取り外す。
- (4) 本品を平坦な場所に静置する。
- (5) 本品からチューブシステムを外すときは、2本のチューブのルーアロック接続部を反時計回りに回す。その際、接続箇所には排液が残っている場合があるので注意する。
- (6) 青色の排液用チューブ接続口キャップで、排液用チューブ接続口に蓋をする。
- (7) 黄色の装置との接続部キャップで装置との接続部に蓋をする。
- (8) 黒色の安全弁キャップで安全弁に蓋をすることで、本品の廃棄準備が整う。
- (9) 新たなキャニスターを装置に取り付ける場合は、上述の装置への接続に従う。

**【使用上の注意】**

**<重要な基本的注意>**

1. 感染管理の観点から、本品及びチューブシステム両方の交換を推奨する。
2. 装置及び本品は常に直立状態で使用すること。
3. 装置が傾いた場合は機器の誤作動・故障を防ぐため再び直立に設置すること。
4. 本品と装置との接続が確認できない場合は、患者の安全を確保するために、本品を交換することを推奨する。

**【保管方法及び有効期間等】**

**<保管方法>**

1. 高温、多湿、直射日光を避けて室内で保管
2. 輸送/保管温度：-20～+50℃

**<使用期限>**

外装に記載

**\*\*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者：原田産業株式会社

電話番号：06-6244-0978

外国製造業者：アトモス メディツィン テクニク社

(ATMOS Medizin Technik GmbH&Co.KG)

国名：ドイツ